

警 防



水上オートバイ（令和2年度総務省消防庁無償貸与）

事業概要

平成 28 年 4 月から、静岡市、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の 3 市 2 町、人口約 87 万人、面積 2,356 km²を管轄とし、火災をはじめ各種災害による被害の軽減を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりに積極的に取り組んでいます。

特に、清水港への大型客船の誘致をはじめ、中部横断自動車道等のインフラ整備、東京オリンピック等の大規模イベントの開催、さらに南アルプスへの登山客や水域でのレジャー客増加等の生活形態の変化による、複雑、多様化する特殊災害に対応するため、山岳救助隊、水難救助隊、特別高度救助隊及び高度救助隊を配置し、各種訓練等を通じて災害対応力の向上に努めています。

令和 3 年度の機構改正により、警防課内に「災害機動支援・部隊管理室」を設置し、災害現場における安全管理体制の強化を図るとともに、職員の安全管理に関する教育を進め、安全意識、技術の向上を推進しています。

また、発生が危惧される南海トラフ地震等発生時の同時多発火災に対する消防水利の確保のため、静岡市内に地震対策用水利の整備を計画的に進めています。

署 別 消 防 活 動 状 況

		総数			葵			駿河			千代田			
		件 数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	
火 災	その他・特命出動	19	102	321	3	13	47	2	12	38	3	18	59	
	第1出動	166	882	3,028	20	113	405	38	191	704	21	160	509	
	第2出動	20	267	905		32	116	2	38	129	5	43	145	
	第3出動													
	第4出動													
	上記のうち林野火災	3	31	93		1	3		1	2		1	4	
その他	誤報、号外等	60	417	1,445	22	151	542	9	78	294	6	66	194	
救 助	救助出動	280	1,250	4,140	30	153	538	48	183	648	33	203	622	
その他災害	偵 察	自動火災報知機鳴動	446	564	2,041	107	128	482	111	133	492	66	76	275
		怪煙（炎）	51	128	444	10	24	84	8	21	72	8	22	80
		その他	42	87	298	9	18	64	12	22	72	2	6	22
	警 戒	ガス漏れ	7	47	169	1	7	27	1	7	27	2	15	48
		危険物等	77	343	1,201	5	59	235	17	56	192	10	53	182
		その他												
	PA連携		3,155	3,176	11,953	668	645	2,504	679	712	2,725	432	453	1,735
	危険排除		681	1,332	4,557	91	232	816	158	333	1,151	85	183	625
	風水害		16	20	74				2	3	10	1	1	4
	捜索		6	39	124		2	4	1	11	39	4	15	53
演習・訓練等	火災調査		326	326	1,206	21	21	73	47	47	181	53	53	195
	演習訓練		4,551	4,551	19,352	960	960	3,536	784	784	3,793	494	494	1,777
	広報・訓練指導		602	602	2,163	71	71	259	88	88	319	90	90	346
	警防調査		1,458	1,458	5,159	176	176	657	267	267	975	166	166	598
	特別警戒		25	25	94	5	5	20	8	8	31	4	4	14
	予防査察		891	891	3,213	125	125	484	178	178	681	93	93	348
	その他		7,184	7,184	24,721	1,437	1,437	5,167	1,179	1,179	5,836	1,322	1,322	2,568

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

清水			港北			日本平			島田			吉田			牧之原		
管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員
1	7	21	1	4	15	3	9	32	4	25	65	2	13	40		1	4
14	125	451	16	74	261	13	38	154	21	100	299	15	59	174	8	22	71
2	35	118	1	18	63	1	10	38	1	41	131	6	29	91	2	21	74
1	6	21		1	3				2	19	54		1	3		1	3
6	32	122	1	6	23	2	10	39	8	45	138	5	20	66	1	9	27
39	184	655	35	168	557	13	37	146	47	154	492	23	119	341	12	49	141
51	64	247	27	33	120	13	15	59	34	56	178	30	52	165	7	7	23
4	12	42	4	11	38	4	6	25	7	17	55	2	5	13	4	10	35
9	20	73	1	2	7	2	3	11	5	11	36	2	5	13			
1	8	31	1	8	28	1	2	8									
11	45	167	9	40	136	3	13	51	11	32	99	5	29	86	6	16	53
392	354	1,415	238	263	954	203	200	778	328	331	1,086	143	151	525	72	67	231
72	172	609	59	121	412	42	44	175	110	174	534	45	57	175	19	16	60
4	4	16	5	6	23		1	3	4	5	18						
	1	2					2	4	1	8	22						
23	23	94	44	44	157	15	15	60	18	18	63	94	94	322	11	11	61
502	502	1,908	161	161	604	380	380	1,493	235	235	815	318	318	1,099	717	717	4,327
79	79	292	81	81	215	84	84	339	38	38	121	35	35	117	36	36	155
155	155	568	135	135	471	76	76	287	227	227	715	171	171	572	85	85	316
2	2	8	3	3	10				2	2	7	1	1	4			
84	84	327	65	65	239	68	68	264	147	147	442	105	105	330	26	26	98
742	742	2,787	612	612	2,188	450	450	1,744	908	908	2,633	359	359	1,133	175	175	665

山 岳 救 助 隊

静岡市消防局山岳救助隊は、安全登山の一翼を担うべく、南アルプスや安倍奥等での捜索・救助活動のほか、各種訓練等積極的な活動を行っています。



山岳救助隊員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

所 属	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
千代田消防署 しずはた出張所 (山岳救助隊)	第1部	2	1	3		2	8
	第2部	2	1	3		2	8
計		4	2	6		4	16

山岳救助活動状況

(令和2年度)

	発生月	区分	内 容	場所	救助者等	出動隊員数	山岳救助隊員数 (内数)
1	4月	救助	登山中、脳疾患により倒れ意識消失	葵区門屋地内	1人	21人	4人
2	4月	救助	登山中において道に迷ったもの	駿河区安居地内	1人	22人	4人
3	4月	救助	登山中において道に迷ったもの	葵区梅ヶ島地内阿倍峠	1人	35人	4人
4	5月	救助	ハイキング中に足を滑らせ登山道から滑落	葵区宮ヶ崎地内 賤機山	1人	20人	4人
5	5月	救助	登山中に体調不良となったもの 自力下山済み	葵区梅ヶ島地内		22人	4人
6	5月	救助	農作業中に家族が発見しCPA状態	葵区下地内	1人	25人	4人
7	6月	救助	測量中に誤って30m滑落したもの	葵区平山	1人	27人	3人
8	6月	救助	作業員が急斜面を5m転落したもの	島田市川根町笹間上地内	1人	25人	4人
9	8月	救助	山中において約100m滑落し受傷	島田市川根本町犬間地内	1人	24人	4人
10	8月	救助	斜面を約4m滑落したもの	駿河区石部地内	1人	23人	4人
11	8月	救助	脱力し自力歩行困難となったもの	葵区賤機山ハイキングコース	1人	23人	3人
12	9月	救助	登山道で滑落し上肢及び下肢を負傷	葵区梅ヶ島牛首峠付近	1人	19人	4人
13	11月	救助	捻挫により動けなくなったもの	島田市伊太丁仏参道	1人	14人	
14	11月	救助	登山中に足を負傷し歩行不可	島田市大代地内林道	1人	23人	
15	11月	救助	ハイキング中に約5m滑落したもの	駿河区石部地内花沢山	1人	22人	4人
16	12月	救助	約50m滑落し死亡徴候を確認	葵区油山地内		37人	4人
17	12月	救助	登山中に足首を負傷し歩行困難	葵区市宮梅ヶ島キャンプ場登山道	1人	18人	4人
18	1月	救助	登山道を歩行中、バランスを崩して転倒	葵区田代地内		11人	
19	2月	救助	登山者が意識無しの要救助者を発見	駿河区小坂地内満観峰登山道	1人	21人	4人

水 難 救 助 隊

静岡市消防局水難救助隊は、海、河川、湖など水辺での事故や災害に対応すべく、春夏秋冬を問わず年間をとおして潜水訓練・救助訓練のほか地上消防隊との連携訓練等、各種水難訓練を積極的に実施しています。



水難救助隊員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

所 属	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署 用宗出張所 (水難救助隊)	第1部	1	1	3		1	6
	第2部	1	1	3		1	6
日本平消防署 (水難救助隊)	第1部	1	2	4			7
	第2部	1	2	3		1	7
計		4	6	13		3	26

水難救助活動状況

(令和2年度)

	発生月	区分	内 容	場 所	救助者等	出動 隊員数	水難救助 隊員数(内数)
1	4月	救助	シーカヤックが転覆したもの	清水区由比今宿 由比漁港	2人	31人	4人
2	4月	救助	岸壁から入水自殺を企図したもの	吉田町住吉 吉田漁港	1人	12人	
3	4月	救助	サーフィン中に沖へ流されたもの	清水区興津東町 駿河湾沖		27人	4人
4	5月	救助	誤って波消しブロック内に転落したもの	駿河区石部 石部海上橋南側海岸	1人	23人	4人
5	5月	救助	誤って海へ転落したもの	清水区興津清見寺町 興津5号岸壁		21人	4人
6	5月	救助	漁港内に浮いていたところを発見したもの	牧之原市新庄 地頭方漁港		14人	
7	6月	救助	河川へ飛び込んだもの	島田市伊太 伊太谷川右岸		17人	
8	6月	救助	川岸につかまっている状態を発見したもの	島田市中央町 伊太谷川	1人	21人	
9	7月	救助	サーフィン中に沖へ流されたもの	牧之原市静波 静波海岸沖合		13人	
10	7月	救助	河川へ故意に飛び込んだもの	清水区由比 由比川	1人	21人	4人
11	7月	救助	河川へ座りこんでいたもの	清水区鳥坂 瀬名新川	1人	24人	4人
12	7月	救助	中洲へ取り残されたもの	駿河区向敷地 安倍川	1人	21人	3人
13	7月	救助	遊泳中にサーフボードと接触したもの	牧之原市静波 静波海水浴場		15人	
14	7月	救助	夜釣り中に誤って海へ転落したもの	牧之原市新庄 御前崎港	2人	22人	
15	7月	救助	河川内に自ら入水したもの	清水区大沢町 大沢川	1人	24人	4人
16	8月	救助	水上オートバイ同士が接触し海へ投げ出されたもの	清水区由比西倉澤 沖合	2人	31人	4人
17	8月	救助	沖合へ流されたと見間違え通報したもの	牧之原市勝俣 鹿島海岸		25人	
18	9月	救助	沖合へ流されたと見間違え通報したもの	吉田町住吉 釘ヶ浦沖合		17人	
19	9月	救助	河川へ入水したと見間違え通報したもの	清水区江尻台町 巴川		24人	4人
20	9月	救助	波消しブロックで身動きが取れなくなったもの	牧之原市静波 勝間田川河口	1人	18人	
21	9月	救助	河川内で車両が走行不能となったもの	川根本町下泉 大井川河川敷		18人	
22	9月	救助	河川へ転落したもの	島田市中溝町 伊太谷川左岸	1人	17人	
23	10月	救助	行方不明者を発見したもの	牧之原市片浜 海岸		19人	
24	10月	救助	海に浮遊していたところを発見したもの	清水区蒲原 吹上ノ浜		24人	4人
25	10月	救助	河川浅瀬に浸かっているところを発見したもの	清水区能島 巴川		22人	4人
26	10月	救助	沖へ流されたもの	牧之原市静波 静波海岸		24人	
27	11月	救助	誤って海へ転落したもの	牧之原市新庄 海岸岸壁	1人	19人	
28	12月	救助	誤って放水路に転落したもの	駿河区聖一色 大谷川放水路	1人	28人	4人
29	12月	救助	河川に浮遊していたところを発見したもの	葵区加藤島 巴川		26人	5人
30	2月	救助	河川内に転落しているところを発見したもの	駿河区丸子五丁目 丸子川		23人	4人

特別高度救助隊

愛称：静岡・スーパー・レスキュー「SSR」

複雑多様化する特殊災害や東海地震等の大規模災害に対する救助体制の充実強化を図るため、創設された救助専門部隊です。専門的かつ高度な知識と技術を有する隊員で編成し、更に高度救助資機材（二酸化炭素探査装置、画像探索機、地中音響探知機、地震警報器、電磁波探査装置、水中探査装置）を装備し、管轄内の災害だけでなく広域的な緊急消防援助隊として応援出動する部隊です。近年では、平成23年3月の東日本大震災、平成25年10月の台風26号による東京都大島町の土砂災害、平成26年9月の御嶽山噴火災害への活動実績があります。



配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

所 属	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署	第1部	2	2	4			8
	第2部	2	2	4			8
計		4	4	8			16

特別高度救助隊活動状況

(令和2年度)

	月日	区分	活動内容	場所
1	8月21日～9月16日	訓練	倉庫火災対応訓練	駿河消防署
2	9月12日～27日	訓練	特殊災害対応訓練	駿河消防署
3	10月2日	訓練	第3回国際消防救助隊研修	駿河消防署
4	10月15日	訓練	静岡空港航空機事故対応訓練	静岡空港
5	11月6日	訓練	日本坂トンネル訓練	日本坂トンネル
6	11月26日、27日	訓練	高度救助研修	駿河消防署
7	12月1日	訓練	第4回国際消防救助隊研修	駿河消防署
8	1月7日、8日	訓練	第1回水上オートバイ合同訓練（志太消防本部）	新焼津港 城之腰、鰯ヶ島岸壁
9	1月15日	訓練	第5回国際消防救助隊研修	牧之原消防署
10	1月26日	訓練	久能山東照宮合同訓練	久能山東照宮
11	2月2日	訓練	中部地区消防会訓練	新焼津港
12	2月26日	訓練	第6回国際消防救助隊訓練	駿河消防署
13	3月4日、5日	訓練	第2回水上オートバイ合同訓練（志太消防本部）	新焼津港 城之腰、鰯ヶ島岸壁

国際消防救助隊

国際緊急援助隊の派遣に関する法律に基づき、海外の地域において大規模な災害が発生し、被災国の要請を受け消防庁長官の出動決定がなされた場合に、海外へ派遣出動する体制を確保しています。



(令和3年4月1日現在)

所 属	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	計
駿河消防署		1	3	1		5
葵消防署			1			1
千代田消防署				1		1
清水消防署			2			2
港北消防署		1				1
島田消防署						
吉田消防署						
牧之原消防署		1				1
計		3	6	2		11

訓練等活動実績

(令和2年度)

月 日	活 動 内 容	場 所	派遣人員

※ 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、訓練等中止。

消 防 航 空 隊



「救助訓練にて要救助者をピックアップする、消防ヘリコプター カワセミ」

航空消防業務体制

静岡市は、ユネスコエコパークにも登録されました 3,000m 級の山々が連なる南アルプスから駿河湾までの広大な市域を有しており、ヘリコプターの高速性及び機動性を活かし、山林火災における空中消火、山岳遭難者の捜索や救助、救急搬送、海や河川等における水難事故に効果的に対応することができます。その他にもヘリコプターテレビ電送システム等を活用し、災害初期からの情報収集の強化が図られ、社会情勢の変化とともに複雑多様化、大規模化する各種災害に迅速に対応しています。

平成 28 年度からは消防広域化が図られ、火災、救急及び救助災害等による広域化市町の災害にも対応しています。

また相互応援協定及び緊急消防援助隊により近隣市町をはじめ全国規模の災害応援にも対応しています。

隊員配置状況 (令和3年4月1日現在)

階級 所属	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	合 計
航空課	1 人	1 人	6 人	3 人	11 人
	航空隊長	航空隊員 1 (副隊長)	航空隊員 1 操 縦 士 3 整 備 士 2	航空隊員 2 整 備 士 1	航空隊長 1 航空隊員 4 操 縦 士 3 整 備 士 3

消防ヘリコプターの諸元及び主要装備

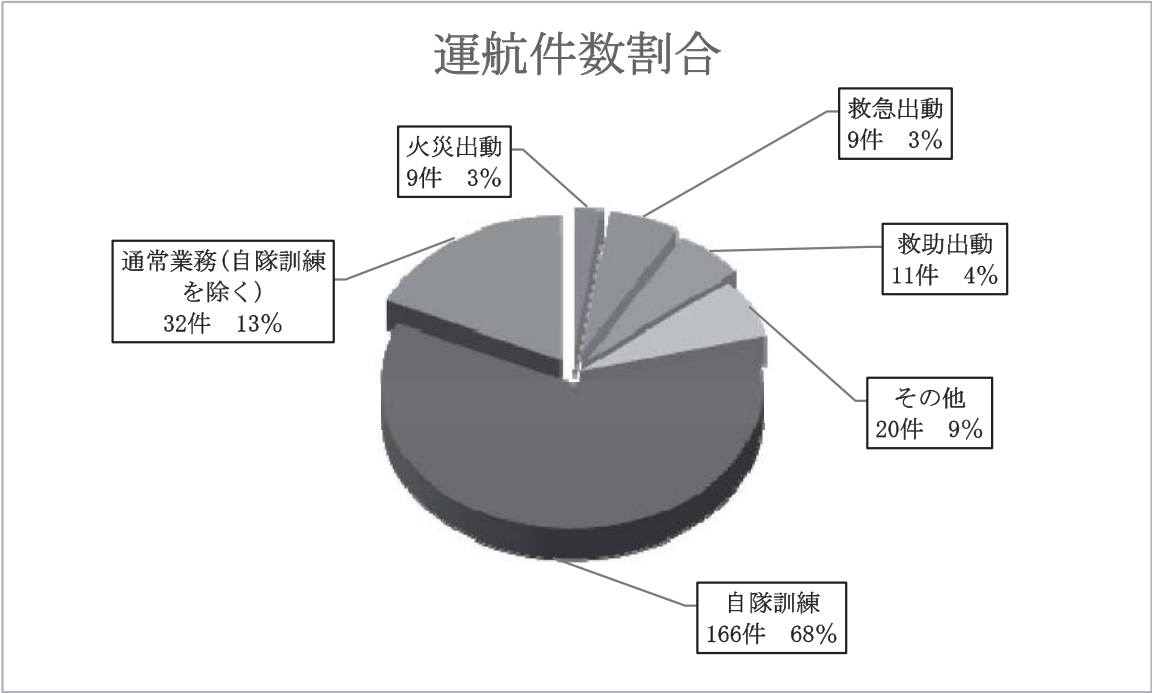
性 能 ・ 諸 元		主 要 装 備	
型 式	ベル式 412EP 型	ホイスト装置	吊り下げ能力 272kg ケーブル長 76m
愛 称	カワセミ		
登 録 番 号	JA119P	ラペリング装置	4 名同時降下可能
エンジン型式	PT6T-3D 型 (軸出力 900 馬力×2)	消火タンク	1,420ℓ (自給可能式)
		消火バケット	1,000ℓ (容量調整機能付)
全長 (主回転翼含む)	17.1m	カーゴスリング装置	2,041kg
全幅 (主回転翼含む)	14.0m	担架装置	3 台搭載可能
全 高	4.6m	ストレッチャー装置	1 台搭載可能
座 席 数	15 座席	機外拡声装置	700W
全 備 重 量	5,398kg	サーチライト	3,000 万カンデラ
最大巡航速度	226km/h	可視・赤外線カメラ	
最大航続距離	656km	全方位カメラ	
最大航続時間	3 時間 50 分	ヘリコプターテレビ電送システム	
最大運用高度	6,096m	ヘリコプター動態管理システム	
燃料タンク	1,251ℓ	衛星電話	

消防航空隊活動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区分	項目		運航件数 (件)		運航時間 (時間)	救助・搬送人員 (人)
災 害 出 動	火災出動		9	静 岡 市 7	6:10	
				島 田 市		
				牧之原市		
				吉 田 町 1		
				川根本町 1		
	救急出動		9	静 岡 市 6	4:57	5
				島 田 市 2		
				牧之原市		
				吉 田 町		
				川根本町 1		
	救助出動		11	静 岡 市 5	10:10	6
				島 田 市 2		
				牧之原市 2		
				吉 田 町		
				川根本町 2		
	その他	管内	2	静 岡 市 2	1:06	
				島 田 市		
	牧之原市					
	吉 田 町					
	川根本町					
	応援出動 (管外)	火災出動	1		1:19	
		救急出動	7		3:50	3
		救助出動	10		9:38	7
		その他				
災害出動合計			49		37:10	21
通 常 業 務	応援業務	訓練				
		その他				
	運航管理 業務	自隊訓練	166		150:30	
		試験・検査	5		1:50	
		その他	3		2:25	
	消防業務	調査・撮影	5		5:50	
		訓練	11		9:10	
		その他				
	行政運航		8		10:05	
通常業務合計			198		179:50	
総 計			247		217:00	21

- ※ 火災出動：火災現場における消火活動、情報収集活動等
- 救急出動：傷病者、医師及び医薬品等の救急搬送
- 救助出動：人命救助を目的とした救助活動、捜索活動
- そ の 他：上記災害出動以外の出動及び応援出動
- 応援出動：緊急消防援助隊または応援協定等により管外へ出動した件数
- ※ 運航件数については、救助出動において要救助者を救助しヘリコプター内へ収容した後、医療機関等へ搬送することにより、1つの事案に対し救助出動と救急出動の2つの災害出動が計上される。



年別災害出動件数 (件)

災害種別	火災出動	救急出動	救助出動	その他出動 (うち応援出動)	合計
平成 28 年	6	29	17	12 (7)	64
平成 29 年	8	31	26	4 (2)	69
平成 30 年	3	9	8	8 (7)	28
令和元年	6	15	15	13 (10)	49
令和 2 年	静岡市 7	静岡市 6	静岡市 5	20 (18)	49
	島田市	島田市 2	島田市 2		
	牧之原市	牧之原市	牧之原市 2		
	吉田町 1	吉田町	吉田町		
	川根本町 1	川根本町 1	川根本町 2		

※ 応援出動は、静岡県消防防災航空隊が運航不能時に静岡県航空消防相互応援協定により管轄区域外へ出動した件数です。

整備関係業務

ヘリコプターの安全運航の維持に万全を期するため、日常点検、定時点検等の点検整備を行っており、また、航空局発行の耐空性改善通報（TCD）による検査、整備、改造等の指示に従い、特別整備等も実施しています。

令和元年度中の長期点検整備実績

内 容	期 間	日 数
150 時間 6 ヶ月点検	令和 2 年 6 月 7 日 ～令和 2 年 6 月 20 日	14 日
	令和 2 年 10 月 21 日～令和 2 年 11 月 2 日	13 日
耐空検査	令和 2 年 12 月 21 日～令和 3 年 3 月 16 日	86 日
合 計		113 日

管内離着陸場等

（令和 3 年 4 月 1 日現在）

		場外離着陸場	緊急離着陸場	レスキューポイント
静岡市	葵区	15	43	60
	駿河区	1	9	13
	清水区	3	25	16
島田市		1	17	36
牧之原市		1	21	18
吉田町		1	4	20
川根本町		2	21	15
合計		24	140	178

※ 場外離着陸場

飛行場以外の臨時のヘリコプター離着陸場で、必要な空域と周囲の安全が確保されると認められる場合に、運航者の事前の申請に基づき国土交通大臣が許可する場所。

※ 緊急離着陸場

航空法第 81 条の 2（搜索又は救助のための特例）が適用され、災害活動等、緊急時のみに離着陸出来る場所。

※ レスキューポイント

場外離着陸場及び緊急離着陸場のない中山間地等において、ホバリングによる救助、人員搬送、物資搬送等を目的とした緊急救助用スペース。

静岡市及び２市２町の消防水利状況

(令和３年４月１日現在)

			静岡市	島田市	牧之原市	吉田町	川根本町
消火栓	総数		12,188	1,114	798	515	
	公設		12,032	1,114	798	515	
	私設		156				
防火用水槽 (40㎡以上) ※飲用水兼用 耐震性貯水槽 を含む	総数		1,512	386	351	23	233
	公設	耐震性	836	263	178	16	134
		非耐震性	505	115	168	3	99
	私設	耐震性	30	5	3		
		非耐震性	141	3	2	4	
防火用井戸	総数		857		2	39	
	公設	耐震性	335				
		非耐震性	496		2	39	
	私設	耐震性					
		非耐震性	26				
プール	総数		247	34	16	5	10
	官有		237	32	16	5	10
	民有		10	2			

大地震対策事業による消防水利整備状況（静岡市）

（令和3年4月1日現在）

整備登録	計	耐震性貯水槽			飲料水兼用 耐震性貯水槽		さく井式 防火用 井戸
		100m ³ 型	60m ³ 型	40m ³ 型	100m ³ 型	60m ³ 型	
昭和51年	5	1		4			
昭和52年	98	41		57			30
昭和53年	72	34		38			33
昭和54年	67	22		45			17
昭和55年	36	7		29			19
昭和56年	28	8		20			18
昭和57年	27	6		21			19
昭和58年	22	3	3	15	1		21
昭和59年	19		5	14			22
昭和60年	16		6	8	2		11
昭和61年	9		4	5			13
昭和62年	13	1	4	8			13
昭和63年	28		3	24	1		11
平成元年	27		5	22			12
平成2年	17		3	14			13
平成3年	24			21	3		11
平成4年	18		4	13	1		8
平成5年	22		2	18	2		10
平成6年	13	1		11		1	6
平成7年	14		1	12	1		3
平成8年	17	1		10	5	1	1
平成9年	19	1		12	6		3
平成10年	14	1		9	3	1	5
平成11年	10	1		8	1		4
平成12年	8	1	1	5	1		4
平成13年	10	2		7	1		
平成14年	9	2		6	1		8
平成15年	10	2		7	1		1
平成16年	14	1	1	12			4
平成17年	3			3			2
平成18年	3			3			
平成19年	12			11	1		1
平成20年	7	1		5	1		
平成21年	5	1		4			1
平成22年	4			4			1
平成23年	3			3			2
平成24年	4			4			3
平成25年	9			9			2
平成26年	30	8		22			1
平成27年	15			15			1
平成28年	3			3			1
平成29年	7			7			
平成30年	4	2		2			
令和元年	1			1			
令和2年	1	1					
令和3年	3			3			
不明	36	4	1	31			
総数	836	153	43	605	32	3	335

静岡消防の概況
予
防
警
防
救
急
指
令
火災・救助統計
静岡市消防団